

[成果情報名] 受精卵移植普及定着化

[要約]

本県では熊野牛の資質向上、増産及び生産基盤の強化のため受精卵移植を利用しており、その普及、技術向上のため当场において受精卵移植推進会議1回、受精卵移植技術実習会1回、巡回指導23回を実施し、受胎率は38.5%となっている。(平成17年12月末現在)

[キーワード] 受精卵移植、推進会議、受精卵移植技術実習会、巡回指導、受胎率

[担当機関名] 畜産試験場 大家畜部 [連絡先] 0739-55-2430

[部会名] 畜産部会 [分類] 指導

[背景・ねらい]

本県では熊野牛のブランド化を推進しているが、産地間競争の激化する中で優秀な能力の牛の導入や確保が難しい状況にある。よって本県では熊野牛の資質向上、増産及び生産基盤の強化のために受精卵移植技術を利用することは不可欠である。当场では年1回の推進会議、受精卵移植技術実習会や移植頭数の多い地域の技術者と畜産農家を重点的に指導する巡回指導等を実施し、受精卵移植の普及・技術向上を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 推進会議、受精卵移植実習会

当场にて、平成17年9月1日に推進会議、平成17年9月2日に受精卵移植技術実習会を開催した。

1) 推進会議：参加者8名（畜産課、家畜保健衛生所、畜産試験場）

県内の平成16年度の受精卵移植成績や平成17年度の受精卵移植実施状況、今後の計画等を協議した。また、過去10年間の県内受精卵移植成績のデータを分析し、受胎率向上に関する要因について検討した。受胎率は黄体ランクが良いほど高かったが、子宮頸管通過難易度、移植部位、受卵牛産歴の各要因別の受胎率には有意な差が認められなかった。

2) 受精卵移植技術実習会：参加者8名（家畜保健衛生所、畜産試験場）

受精卵移植の経験無し、もしくは1～2年の経験の家畜保健衛生所の技術者を対象に、生殖器検査、子宮頸管通過練習等の移植技術の実習を実施し、技術の底上げ・平準化を図った。

2. 受精卵移植巡回指導

受精卵移植実施頭数の多い地域を重点地域とし、その地域の家畜保健衛生所の技術者や畜産農家に、受精卵移植技術指導や受卵牛の適正飼養管理指導等を実施した。重点地域は主に紀南地域の東牟婁管内である。平成17年12月末現在、23回実施している。

3. 県内の受精卵移植受胎率

1) 平成17年12月末現在、平成17年度の県内受精卵移植受胎率は38.5%となっており、平成16年度の受胎率より高くなっている。

2) 重点地域の東牟婁管内の受胎率は、平成17年12月末現在、46.7%となっており、平成16年度より高くなっている。

[成果の活用面・留意点]

今後も受精卵移植実習会や重点地域の巡回指導等を実施し、受精卵移植技術の向上・普及に努める。さらに受胎率向上を目指すため、県内の受精卵移植成績データの検討や新しい技術情報の収集も行う。

[具体的データ]

1-1) 推進会議

- ・平成17年9月1日当场で開催
- ・参加者は8名(畜産課、家畜保健衛生所、畜産試験場)

○受精卵移植実施成績から受胎率に関する要因を検討(過去10年間のデータ)

黄体ランク別受胎率				子宮頸管通過難易度別受胎率			
黄体ランク	移植頭数	受胎頭数	受胎率	難易度	移植頭数	受胎頭数	受胎率
A	89	50	56.2% ^{A, a}	易	95	35	36.8%
A'	163	65	39.9% ^{A, b}	普通	131	61	46.6%
B	40	9	22.5% ^B	難	66	28	42.4%

※異符号間に有意差あり AB(p<0.01), ab(p<0.05)

移植部位別受胎率				受卵牛産歴別受胎率			
移植部位	移植頭数	受胎頭数	受胎率	産歴	移植頭数	受胎頭数	受胎率
浅	67	25	37.3%	未經産	174	69	39.7%
外側分岐部	156	68	43.6%	1産	97	44	45.4%
深	69	31	44.9%	2産以上	88	35	39.8%

1-2) 受精卵移植技術実習会

- ・平成17年9月2日当场で開催
- ・参加者は8名(家畜保健衛生所、畜産試験場)

○基本技術の生殖器検査、子宮頸管通過練習等の受精卵移植技術の実習を実施

2. 受精卵移植巡回指導

- ・受精卵移植実施頭数の多い地域: 紀南地域の東牟婁管内を重点地域とし、その地域の家畜保健衛生所の技術者に受精卵移植技術指導、畜産農家に受卵牛の適正飼養管理を指導

3. 県内の受精卵移植受胎率

平成17年度受胎率			平成16年度		
項目	17年度	16年度	項目	17年度	16年度
移植頭数	26頭	53頭	移植頭数	15頭	36頭
受胎頭数	10頭	19頭	受胎頭数	7頭	13頭
受胎率	38.5%	35.8%	受胎率	46.7%	36.1%

(平成17年12月末現在)

[その他]

研究課題名: 受精卵普及定着化

予算区分: 県単(一部交付金)

研究期間: 平成10年度~

研究担当者: 福原順子、柏木敏孝

発表論文等: 関連データを平成17年度畜産技術業績発表会にて口頭発表

